

■2013 年度

1. 留学生センター所属の研究留学生の受入および相談指導

▼ 大使館推薦国費留学生：研究留学生（日本語研修生）の受入および相談指導

前期9名：ベトナム2、ラオス1、サウジアラビア1、マラウィ1、ブルガリア1、トルコ1、コンゴ（民）1、アルゼンチン1（このうち5名が本学へ進学、4名が神奈川県内の他大学へ進学）後期3名：ブラジル1、ルーマニア1、ルワンダ1（全員本学へ進学）

研究留学生受け入れにあたり、渡日前連絡、チューター説明会、渡日直後のオリエンテーション、学期中の個別面談等を行い、日本での大学生活や専門分野への進学準備が円滑に進むようサポートした。

2. 外国人留学生に関わる相談指導

▼ 週10件から20件。主な相談内容は、住宅関係（家探し、大家とのトラブル、寮トラブル）、家族呼び寄せ、出産、指導教員、交通事故、金銭トラブル、健康、交流、日本語、経済、奨学金、手続き補助等。年間を通してみると、新学期(4月と10月)に相談件数が多い。年間の総数は約500件である。留学生支援に関わる相談も増えている。

3. 外国人留学生に対する支援

外国人留学生が日本でのネットワークを広げ、順調に生活していけるよう、以下のような支援に取り組んだ。

▼ 交流・相談室105（いちまるご）」の運営

1) 105は留学生センター1階105室に設けた交流・相談室で、留学生のニーズに気軽に応じられるように学生がスタッフとして対応している。学生スタッフの数は稼働している学生が約30名である。開室時間（11：30-14：30）には、情報提供、手続きの手伝い、日本語会話の相手、日本語学習の手伝い、日本語教科書等の図書の貸出し、交流等を行う。日々の活動のほか、留学生と日本人などの一般学生との交流を促進するため、交流イベントを開催している。生活指導部門の教員は、105の学生達と密にコンタクトをとり、スタッフの指導・育成や活動への助言とサポートを行う。

2) 年間を通じて行われた主な交流イベントは以下のとおりである。

- ・新入留学生対象のキャンパスツアー（4月）

- ・ ウェルカムパーティ (4月)
- ・ 留学生と日本人学生との交流合宿 (アステージキャンプ) (5月)
- ・ BBQパーティ (6月)
- ・ 新入留学生対象のキャンパスツアー (10月)
- ・ ウェルカムパーティ (10月)
- ・ 留学生と日本人学生との交流合宿 (アステージキャンプ) (11月)
- ・ インターナショナルフードパーティ (1月)

3) 今年度の交流イベントへの参加人数は昨年度に引き続き、延べ700人を越えた。留学生だけでなく、日本人学生などの一般学生の参加が増えている。

4) 2012年度に開始した「日本語トークタイム」は引き続き週1回昼休みに行われ、留学生の日本語会話練習の機会とそれを通じての交流の機会を提供した。また「交流合宿 (アステージキャンプ)」は昨年度に続き、春と秋、2回開催し、年2回の開催が定着しつつある。交流合宿については、次の年度にも活動がうまく繋がるように報告書を作成している。

5) 大学祭では、過去にブラジル料理の出店に協力した経験を生かし、モスリム留学生グループの出店をサポートした。この他、学内での国際交流への協力の要請があれば応じている。留学生見学旅行チューター参加、学長主催パーティへの協力等～2012

6) 他大学の国際交流グループとともに行う研修会へも毎年数名が参加し (年度によっては主催側のスタッフとしても参加)、他大学の学生との交流を行うとともにスキルアップをはかっている。2014年1月には、学生スタッフOBOGとの交流会が行われた。実社会で活躍する卒業生や留学生を含め、学生達のネットワークは広がりを見せている。

105で行われている活動は、留学生への支援として大切なものであるが、学生スタッフにとっても異文化コミュニケーション能力や異文化対応能力を身につける教育的な機会となっている点は、大学における活動として重要と言えよう。

▼ 広報活動：冊子等の作成・配付

留学生への情報提供および、日本人学生と留学生との交流の促進を目的に以下の印刷物を作成・改訂し、配布するとともに、ウェブサイトへの掲載を行っている。

- ・ 留学生との交流ハンドブック
- ・ 留学生のための学内窓口案内
- ・ 学内外の交流イベントリスト

・留学生のための住宅の探し方・住み方ガイドブック

▼ 留学生ネットの運用（2008年度から）

留学生のメーリングリスト（配信のみ）を利用して、イベント情報や就職活動情報ほか、留学生への情報伝達を行っている。

現在留学生の登録数は約700である。**留学生ネット**は、生活指導部門で、委員長と事務局をつとめた外国人留学生支援方策検討専門小委員会（2002-2012年）の企画として立ち上げたものである。当委員会は改組にともない廃止となったが、委員会企画の主なものは生活指導部門が引き継いでいる。委員会で実施して来た他の事柄は以下のとおりである。

「教員のための留学生指導に関する10の情報」作成（2005年度から。2014年度に改訂版を作成予定）、「地震対策カード」改訂（2011年度）、**生協でのハラルメニュー提供への働きかけ→第2食堂で実現（2011年度）**、「住宅を借りる際の注意事項カード」作成（2009年度）、生協のメニューの英語併記提案（2009年度）、留学生が困っていることについての**アンケート調査**（2012年度）。「留学生のための住宅の探し方・住み方ガイドブック」（2012年日本語版作成、2013年日本語版改訂、英語版追加）、留学生グループ代表との懇談会（2009年度、2011年度、2012年度）

▼ 就職活動支援

留学生の就活支援団体（NAP）とキャリアサポートルームの協力を得て、就活セミナー開催を開催した(2009年度から実施)。講義と個別相談会を4日間にまたがって行った。33名の留学生が参加した。

▼ 地域団体との連携による留学生支援・交流プログラム等の実施

1) 個別日本語支援・文化紹介イベント

地域ボランティア団体(KSGG)の協力により個別日本語支援を希望する留学生にボランティアチューターを紹介している。レポートや論文の日本語のチェック、就職対策、文化紹介、会話の相手、諸手続きの手伝い等のサポートが行われている(常時留学生30数名が支援を受けている)。また当団体が開催する日本文化紹介イベント(浴衣会、庭園見学、工場見学ほか年数回)については広報に協力している。毎年秋に行われる鎌倉見学は拝観料他を団体が負担、昨年、一昨年と50名ほどの本学の留学生が参加した。

2) 生け花体験教室の開催（8月、2月）

新しい試みとして上記KSGGのメンバーである生け花講師の協力のもと、留学生センターにて生け花体験教室を開催した。参加者は計20名であった。

3) ホームステイ体験プログラム (6月、12月、3月に実施：約65組)

地域団体の協力を得て、週末を利用した、1泊2日 (3月春休みは2泊3日) のホームステイ体験プログラムを年に3回行っている。(2003年度から)

4) 家族向け日本語教室

留学生会館では、地域ボランティアの協力により日本語教室が週2回開かれており、留学生やその家族が日本語を学ぶとともに情報交換を行う場ともなっている。

5) その他

地域中等教育機関からの要請で、留学生センターにて交流行事を実施した。この他、これまで、横浜パレードへのアフリカ留学生の派遣、韓国語指導留学生の募集、子供会行事への学生協力者派遣等を行っている。

▼ 他大学との連携

全国国立大学留学生指導研究協議会 (年2回) への参加

▼ その他の指導業務

新入留学生オリエンテーション (4月、10月) への協力。一時貸付けの審査、社員寮面接およびトラブルへの対応。学生支援課主催のチューター説明会への協力。

4. 横浜国立大学留学生会館 主事

主事として以下のような業務を行った。

- ・ 入居者のトラブル等への対応
- ・ レジデントアシスタント (日本人学生) の選出と指導 (毎年レポートを課す)
- ・ 地域ボランティアによる家族入居者向け日本語教室 (週2回) 開催の支援
- ・ 日本語教育専攻院生による家族入居者向け日本語教室 (週1回) 開催の支援
- ・ イベント開催への協力 (スプリングパーティ、ウィンターパーティ)
- ・ ロータリークラブとの交流

5. その他

▼ オープンキャンパスへの参加 (8月)

学生スタッフとともに、国際交流コーナーで、交流・相談室 105 の活動を紹介した。約 300 名に対応した。(2010 年度、2011 年度、2012 年度、2013 年度)

(藤井桂子)